



【長野県支部からの報告】

長野県支部支部長 鈴木貞博
(南長野医療センター・篠ノ井総合病院・総合診療科)

新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため、医療界の状況も日常生活もすっかり様変わりしてしまい、皆様大変ご苦労されている事と存じます。

先にご報告した通り長野県支部が主管いたします第9回日本プライマリ・ケア連合学会・関東甲信越ブロック地方会は新型コロナウイルス感染禍のため当初予定していた2020年10月31日、11月1日の日程での開催が困難となり、1年延期となりました。

新しい開催概要は以下の通りです。

<テーマ>集え！信州の空の下～地域ケアの今とこれからを語り合おう～

会期；2021年10月30日（土）13:00～10月31日（日）16:00

会場；JA長野県ビル・アクティールホール

(〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3)

会長；鈴木貞博（南長野医療センター篠ノ井総合病院総合診療科部長）

プログラム委員長；関口健二（信州大学附属病院総合診療科特任教授）

特別講演1題、教育講演2題、シンポジウム数題、ワークショップ（一部公募、HPで募集いたします。）、一般演題（近日中にHPで募集。）、産業医講習会、エコーハンズオンセミナー、キャリアカフェ、指導医講習会（2枠予定）、などを予定しております。

特別講演は、諏訪中央病院名誉院長、蒲田實先生に「人生100年時代をどう支えるか～若き総合診療医、プライマリ・ケア医へのメッセージ」という演題名でご講演をお願いしております。

教育講演1は、国立成育医療センター、妊娠と薬情報センターセンター長、村島温子先生に、母性内科とプライマリ・ケアに関する御演題をお願いしてあります。教育講演2は、石巻市立病院部長、石巻市健康部包括ケアセンター所長、長純一先生に、災害医療に関するご講演をしていただく予定です。

また、この度の新型コロナウイルス感染症に関するプログラムも予定しております。

開催形式については、今まで通り現地集合開催、Web開催、両者を交えたハイブリット方式などを検討中ですが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況、ワクチンの接種状況などを参考に、夏頃までには決定したいと考えております。

内容や演題募集に関しては、地方会HP【<http://www.abc-ad.co.jp/jpca2020/>】に順次公開していきます。

尚、長野県支部総会はブロック地方会と合わせて開催予定でしたので、今年度は開催せず、Webによる理事会などで連絡を取り合っていく予定です。

各地でプライマリ・ケアを担う医療従事者の皆様は、緊迫した診療を続け地域医療の最後の砦として頑張っておられる事と思います。今後、この世界的感染症が一刻も早く制御され、2021年秋には長野の地で皆様とお会いできる事を信じてブロック地方会の準備を進めてまいります。

【日本プライマリ・ケア連合学会栃木支部会務報告】

2020年8月27日の栃木プライマリ・ケア研究会総会で、矢吹清人会長の引退、名誉会長への就任、寺門道之が、栃木プライマリ・ケア研究会の会長に選出、就任。

同時に、それまで、栃木プライマリ・ケア研究会が日本プライマリ・ケア連合学会の栃木県支部の役割を担っていたが、新たに日本プライマリ・ケア連合学会栃木支部を立ち上げて、栃木プライマリ・ケア研究会は、支部の活動の一つに位置づけて継続する事が承認された。

日本プライマリ・ケア連合学会栃木支部の代表世話人である、寺門道之が、支部長を務める事になった。会則などの検討の末、10月28日に、Zoom 世話人会を経て、会則などが決定された。2021年4月に支部総会を予定している。

日本プライマリ・ケア連合学会栃木支部

<https://plaza.umin.ac.jp/jpcatc/>

【関東甲信越ブロック埼玉県支部の活動報告】

日本プライマリ・ケア連合学会 埼玉県支部

石田岳史

埼玉県支部では毎年11月に埼玉プライマリ・ケア連合研究会（兼総会）を開催してきましたが、今年は残念ながらCOVID-19の影響で中止しました。一方、若手の家庭医療専門医と県内のプライマリ・ケアに関わる方々が中心になり、専攻医や多職種への教育を通じて学び合い、医療・ケアの質向上や交流を目的としたSPart（スパート：SaitamaのPrimary careをartする!）というweb勉強会を年に2回開催しました。2020年3月は専攻医1人あたり2人の指導医をつけてポートフォリオ作成の個別指導を行いました。2020年9月27日には、今永光彦先生を講師としてSEA (Significant Event Analysis)のセッション、高橋慶先生にプロフェッショナルリズムに関するコアレクチャーを行っていただきました。参加人数は16名（うち専攻医3名）で、コロナ禍で若手の交流が途絶える中、有意義なイベントになったと思われれます。次回は2021年2月14日開催予定です。奮ってご参加ください。

【東京都支部から】

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科全人的医療開発学講座総合診療医学分野

日本プライマリ・ケア連合学会東京都支部長

竹村 洋典

■東京都支部の理念、目標、活動事業

東京都支部の理念、目的、活動事業などが、2020年7月9日開催の東京都支部リーダー会において下記のように決定された。

【理 念】

東京都民が健康で豊かな生活をするために必要なプライマリ・ケアを推進する。

【目標】

- ・超高齢化が進む2025年から2040年の東京都に向けて、都民のニーズに応えられる家庭医療・総合診療機能を持った医療者育成の充実をはかる。
- ・東京都の地域医療を提供する医師が持つべく、プロフェッショナリズム、臨床推論能力、コミュニケーション技法といった都民のニーズに応えられる臨床能力育成を支援する。
- ・東京都に存在する総合診療専門研修や新家庭医療専門研修、病院総合診療専門研修などの地域医療に資する研修プログラムを支援する。
- ・東京都の地域包括ケアを充実させるために、プライマリ・ケアに関わる看護師、薬剤師、歯科医師などの多職種医療・介護従事者の活動を支援する。

【活動事業】

- ・家庭医療・総合診療能力を向上させるための医師向け講習会
- ・病院総合医、在宅医などの講習会
- ・家庭医療・総合診療のための指導医や教員の育成のための講習会など
- ・多職種連携のための教育、研修
- ・東京都民に対するプライマリ・ケア、家庭医療・総合診療などの啓発活動
- ・東京都におけるプライマリ・ケアの体制や教育・研修などに関わる調査研究
- ・男女共同参画に関わる事業
- ・その他の事業

■東京都支部の大学、病院、診療所のリーダー会について

下記のようにリーダー会を基に活動することとなった。

1. 目的

東京都支部の活動を推進すること。

2. 活動内容

- (1) 事業の企画
- (2) 事業の運営
- (3) 資金獲得

3. 構成

- (1) 次の3つのグループで構成
 - a. 大学グループ
 - b. 病院グループ
 - c. 診療所グループ
- (2) 各グループにグループ長を置く

4. その他

- (1) 各グループは、定期的にZOOM会議を実施する。
- (2) すべてのグループによるZOOM会議は四半期に一度実施する。
- (3) ZOOMの設定などは東京医科歯科大学総合診療科秘書が行う。

(4) 議事録はその都度、東京医科歯科大学総合診療科秘書に送る。

(5) その他

東京医科歯科大学総合診療科秘書

担当：鈴木 secretary3.fmed@tmd.ac.jp

現在、リーダー会ごとにメーリングリストを構築、以下の3つの事業の構築に向けて議論を進めております。

1. 医療者の包括性を亢進するために必要な事業
(小外科手技を備えるための講習会、整形外科診断の講習会などの講習会など)
2. 医療者や介護関連従事者などの様々な連携度を亢進するために必要な事業
(多職種連携を促進する講習会の開催、各医療施設のインフラ整備など)
3. プライマリ・ケアに対する住民のニーズを明らかにする事業
(タウンミーティングの開催など)